

2021年 3月期  
2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日

## 連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

( 証券コード 7702 )

2021年5月12日

# 業績ハイライト

～2021年3月期～

百万円

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	対前期増減率
売上高	58,569	57,578	△990	△1.7%
営業利益	2,314	2,127	△187	△8.1%
経常利益	2,672	2,013	△658	△24.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,977	1,736	△241	△12.2%
1株当たり当期純利益	81円12銭	71円13銭	---	---

為替レート (期中平均)	米ドル	108.74円	106.06円
	ユーロ	122.07円	121.81円
	シンガポールドル	79.28円	77.65円

～減収減益～

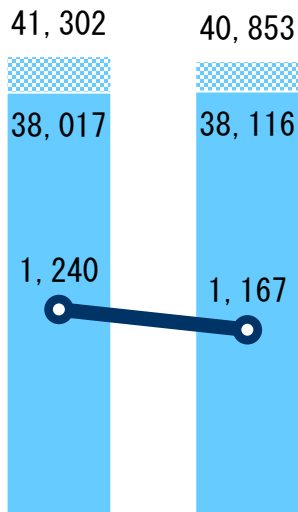
売上	新型コロナウイルス感染症に起因する外来患者の受診控え、採血数の減少等の影響を受ける		利益	- 活動自粛に伴い販売費は減少したものの、減収影響に加え商品仕入単価の上昇により営業利益は減少
	日本	- 薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」が増加 - 輸液セットが減少		- 持分法投資利益の減少や為替差損の計上により経常利益は減少
	海外	- 北米向けのAVF針（血液透析用針）や成分献血用回路が減少	配当金	- 年間配当は1株当たり17円を予定 (中間配当8.5円、期末配当8.5円)

# セグメント業績 (所在地別、経常利益ベース)

百万円

## 日本

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
1.1%減

セグメント  
利益  
5.8%減

2020年3月期 2021年3月期

### 【売上】

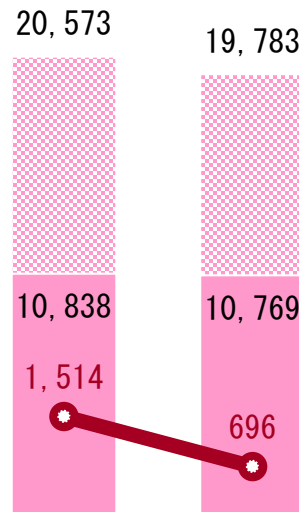
中国向けの血液透析装置のほか、ネオシールドが増加したものの、輸液セットが減少

### 【利益】

販売費が減少したものの、減収影響や商品仕入単価の上昇により減少

## シンガポール

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
3.8%減

セグメント  
利益  
54.0%減

2020年3月期 2021年3月期

### 【売上】

北米向けのAVF針や成分献血用回路が減少

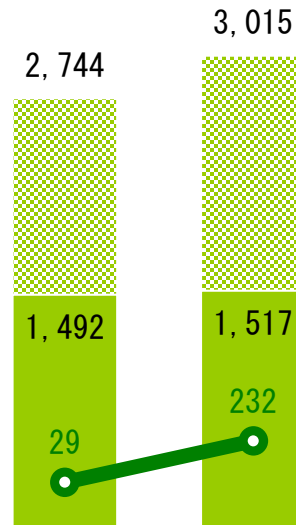
### 【利益】

減収影響に加え為替差損の計上により減少

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

## 中国

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
9.9%増

セグメント  
利益  
692.4%増

2020年3月期 2021年3月期

### 【売上】

日本向けの血液浄化回路や輸液輸血関連用品が増加

### 【利益】

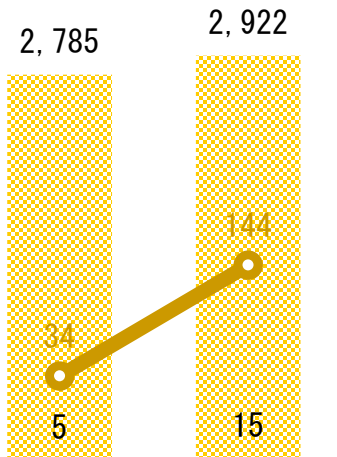
新製品追加等に伴う増収増益効果により増加

# セグメント業績 (所在地別、経常利益ベース)

百万円

## フィリピン

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
4.9%増

セグメント  
利益  
320.3%増

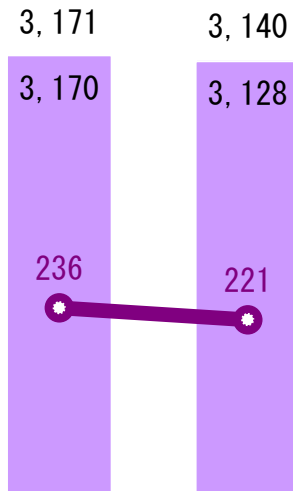
2020年3月期 2021年3月期

【売上】  
北米向けの成分献血用回路が増加

【利益】  
販売及び生産の拡大により増加

## ドイツ

■ 内部売上高  
■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
1.0%減

セグメント  
利益  
6.4%減

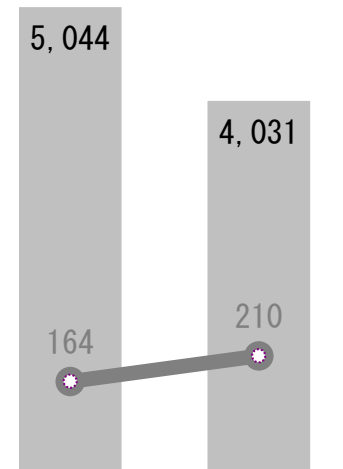
2020年3月期 2021年3月期

【売上】  
血液バッグが減少

【利益】  
為替差損の計上により減少

## その他

■ 外部売上高  
— セグメント利益



売上高  
20.1%減

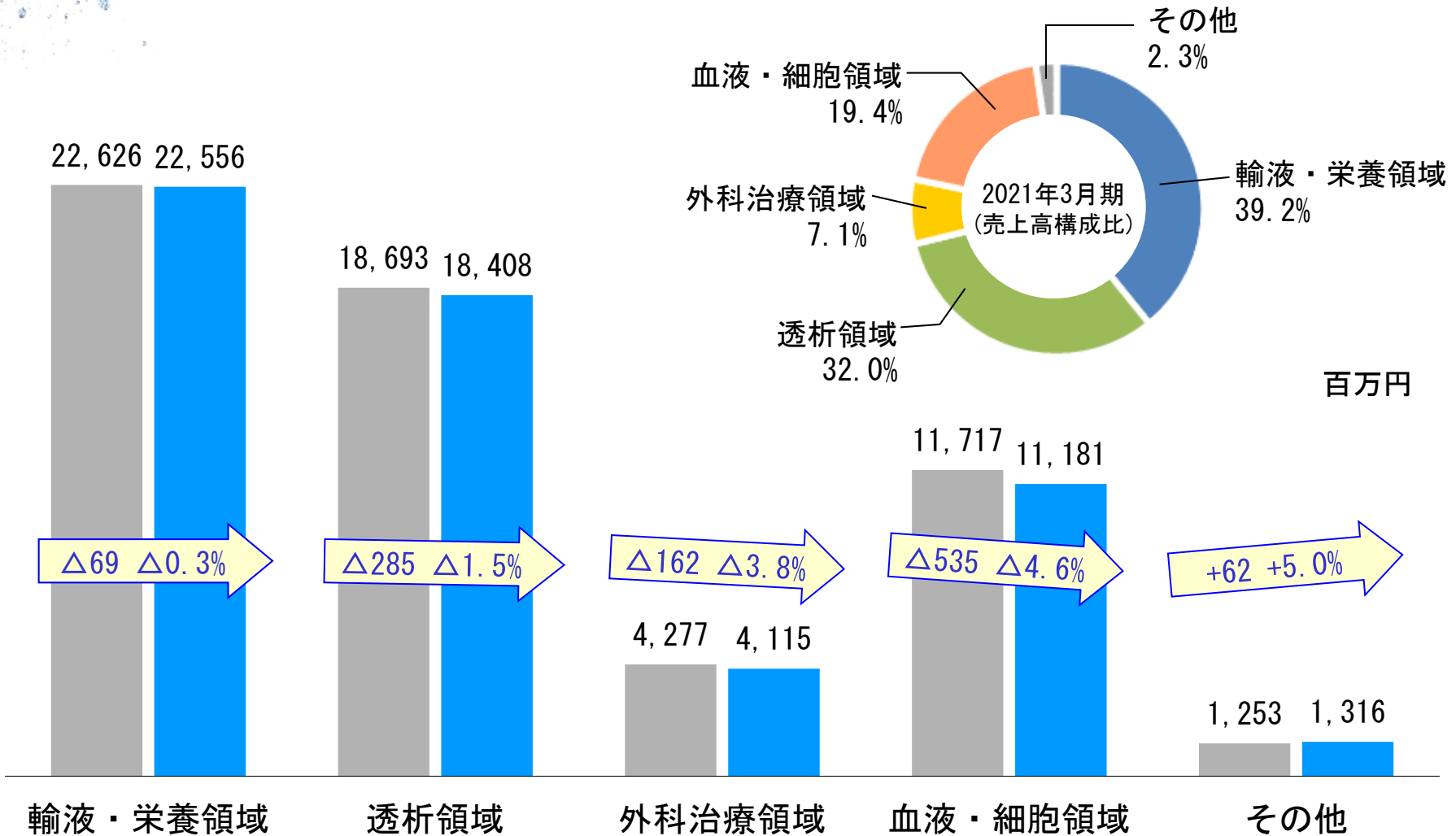
セグメント  
利益  
28.2%増

2020年3月期 2021年3月期

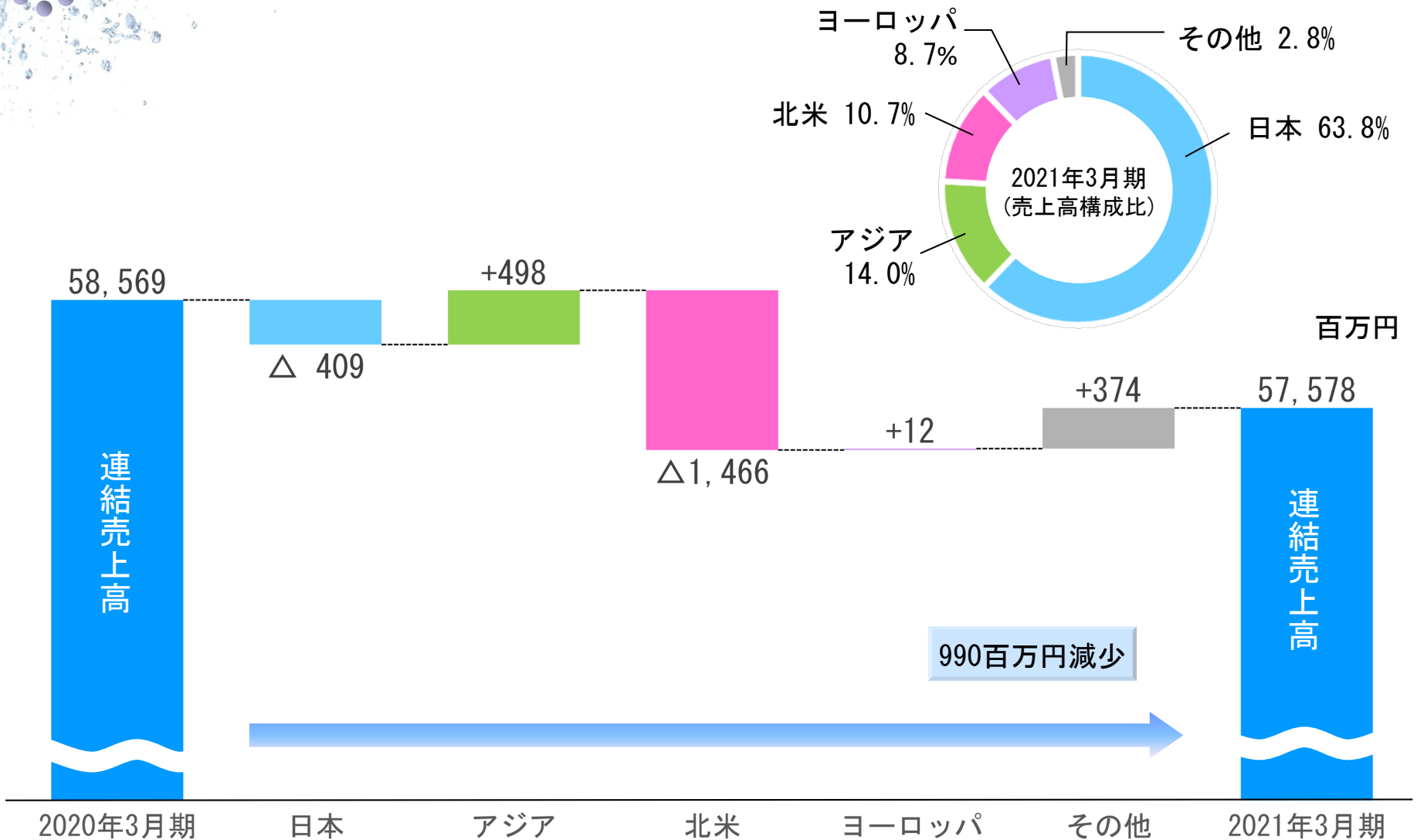
※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

# システム別売上高

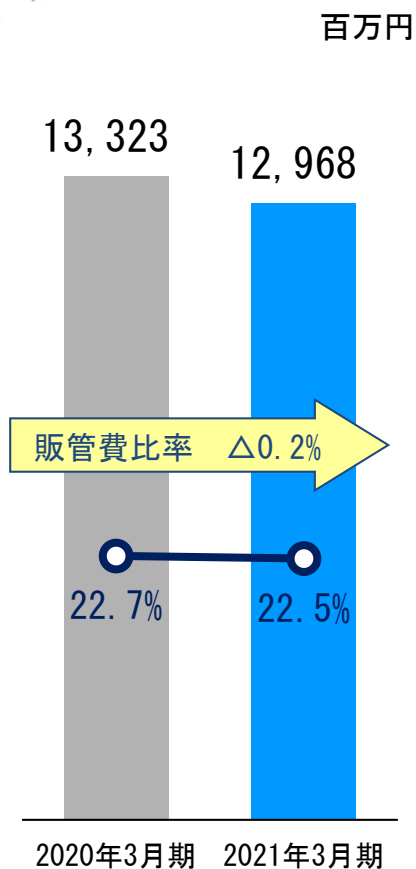
■ 2020年3月期 ■ 2021年3月期



# 売上高増減分析 (顧客所在地別)



# 販売費及び一般管理費

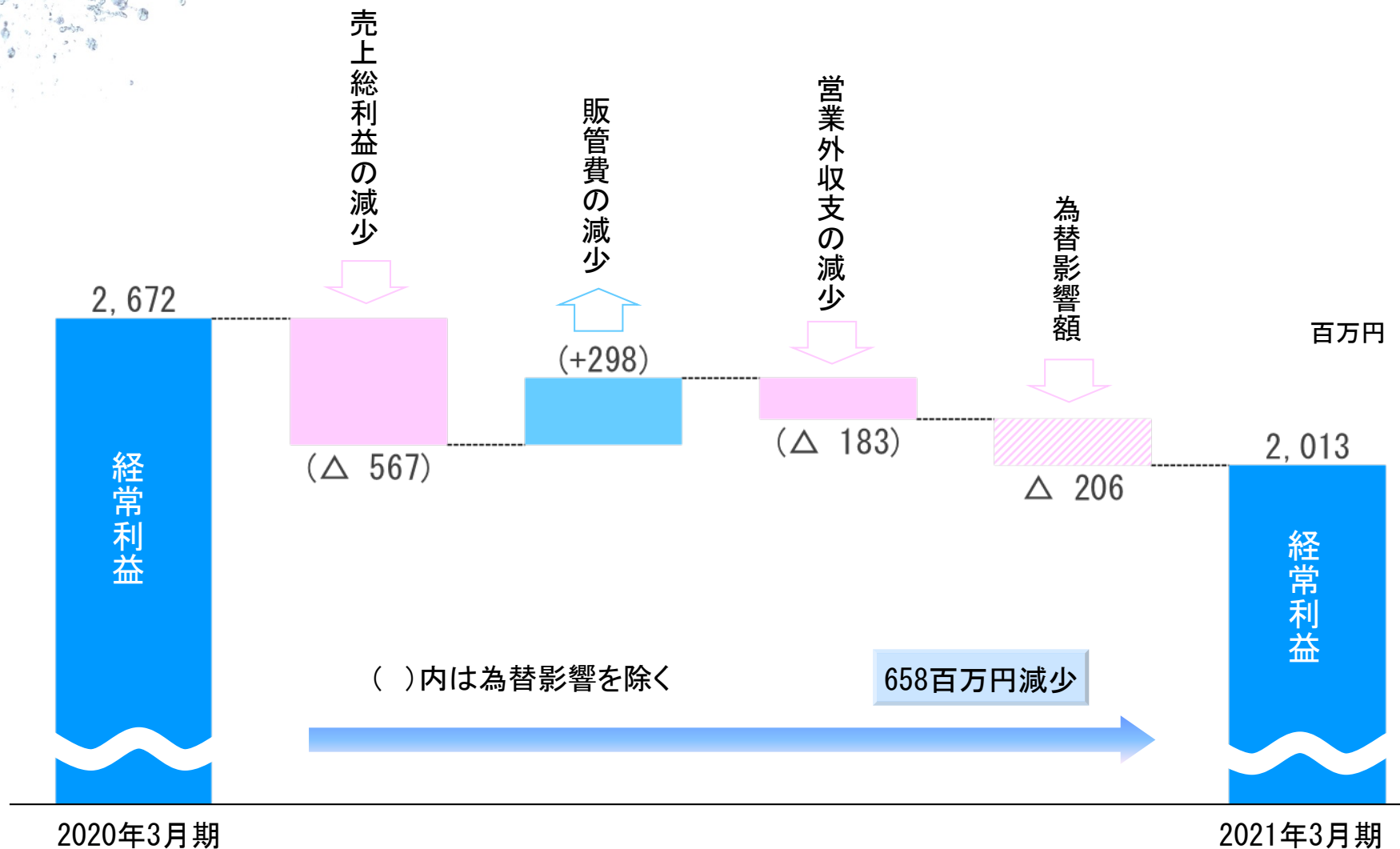


百万円

	2020年 3月期	2021年 3月期	増減額	対前期 増減率
人件費	5,798	5,679	$\Delta 119$	$\Delta 2.1\%$
運送費	1,715	1,750	35	2.0%
研究開発費	1,417	1,600	183	12.9%
減価償却費	352	337	$\Delta 15$	$\Delta 4.4\%$
その他	4,039	3,600	$\Delta 438$	$\Delta 10.9\%$
計	13,323	12,968	$\Delta 355$	$\Delta 2.7\%$

[その他] 旅費交通費や広告宣伝費が減少しました。

# 経常利益：前期実績との比較





# 2022年3月期 通期連結業績予想

百万円

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	対前期 増減率
売上高	57,578	58,600	1.8%
営業利益	2,127	2,100	△1.3%
経常利益	2,013	2,300	14.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,736	1,700	△2.1%
1株当たり 当期純利益	71円13銭	69円61銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	106.06円	108円
ユーロ	121.81円	128円
シンガポールドル	77.65円	81円

翌連結会計年度以降も新型コロナウイルス感染症による影響が一定程度は残ると仮定して算出しております。

-日本ライフライン株式会社から血液浄化事業を譲受けました  
2021年2月

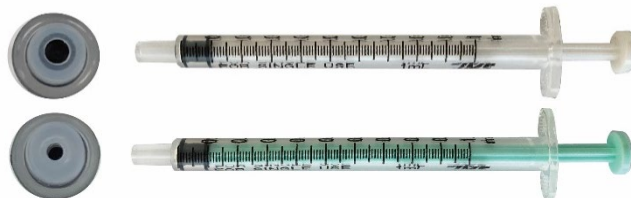
-経腸栄養用シリンジポンプ「EN-SP50」販売開始  
2021年3月



経腸栄養用シリンジポンプ

-ワクチン接種用シリンジの開発  
2021年3月

シリンジ（上：従来製品、下：ローデッドスペース製品）



先端側から  
見た図

先端の内径を小さくして  
無駄なスペースを少なくしています

針埋込型シリンジ（上：従来製品、下：針長さ変更製品）





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。